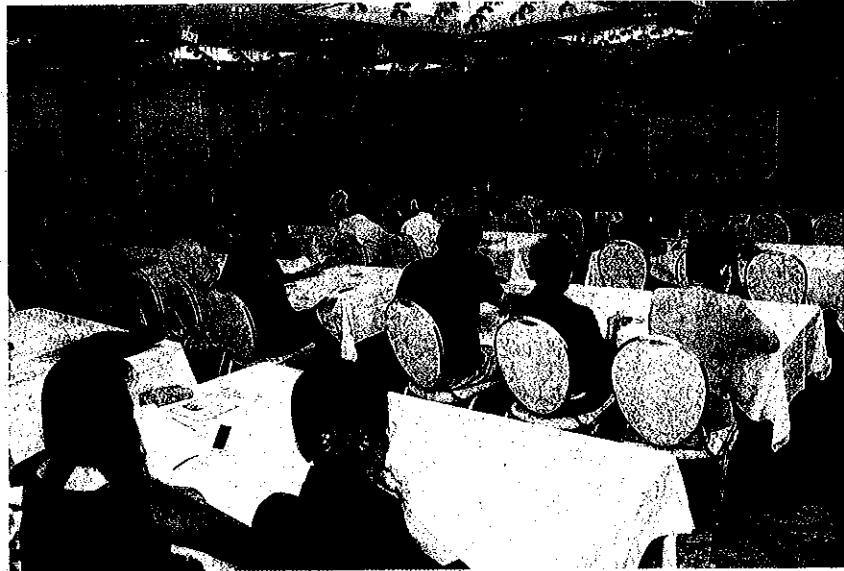


# 魅力輝く「ベルビア」へ

## 茅野 個店経営研修始まる

茅野市のJR茅野駅前のベルビアに出店する店舗をつくる「ベルビア名店会」(柳沢美恵会長)は22日夜、全国商店街支援センターの「個店経営研修」を始めた。魅力ある繁盛店をつくり出し、商店街全体の活性化につなげる狙い。来年2月まで、集客力を高めるためのノウハウを専門家から習得する。(高木敏雄)



繁盛店づくりに向けて始まったベルビア名店会の研修

研修は参加者全員で行う全体的な研修と希望店ご指導を受

ける臨店研修を基本に実施。初回はマリオローヤル会館で全体研修が開かれ、名店会の約35人が参加した。あいさつで柳沢会長は「みんなが心を一つにして勉強し、ベルビアをキラリと輝く商店街にした」と呼び掛けた。

講師は都市マーケティング会社代表取締役の武雄信夫さん(佐賀県武雄市)。「商店街活性化の核となるキラリ輝く繁盛店づくり」をテーマに講義を行った。武雄さんは繁盛店づくりのポイントとして「まず行動」とし、「お金を掛けず、できることから少しずつ」と説明した。

また、最も重要なこととして「売り場で問題を発見し、解決策を考え、実行する」と強調。仮説、試行を繰り返しながら、みんなで情報を共有することで繁盛店を拡大し、商店街全体の活性化につなげる展開を示した。

10月からは希望店6店で臨

店研修を月1回のペースで1店につき4回実施。品ぞろえや販売促進、接客などについて直接アドバイスを受ける。2月に再び全体研修を開き、名店会全体で成果を共有。共通する課題を抽出し、今後の方向性を考える。

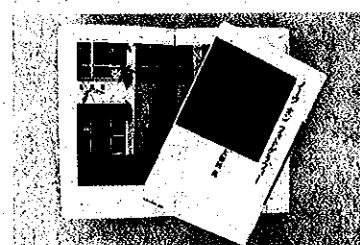
研修は同センターの支援事業の一環で昨年度から始まり、今年度は全国40の商店街で行われるという。

中の企画展「世界のチヨロ展」の関連イベントとして体験講座「アジアンソットでキョウを作ろう」を開いた。15人が参加して、アジアンソットと呼ばれる装飾も結びの

恒久平和誓う  
岡谷で戦没者追悼式  
第47回岡谷市戦没者追悼式は23日、同市のカノラホールで開いた。遺族や市関係者ら

### 自分が歩んだ道を フォトエッセーに

#### 写真家の大和田良さん



国内外で作品を発表する写真家・大和田良さん(東京都目黒区)は、写真に対する考え方や足跡を物語る「フォトエッセー」を発行した。「これから写真に取り組む人たちに少しでも手掛かりになれば」と、自分が歩んできた道を提示している。

大和田さんは1978年仙台市に生まれた。東京工業大学大学院修了。2005年スイスのエリゼ美術館の「明日の有望写真家50人」に選ばれた。作品集に「prism」がある。

「フーツ オン フォト」が発行された「フーツ オン フォトグラフィ」と著者の大和田良さん

「フイー」は大口の撮影契約期間が終了した昨年4月、ふとこれまでを振り返る時が生まれ、写真始めたころからの自分に問い掛けながら執筆した。「写真は写した時の空気を伝える。考え方や取り組みの変遷を見てもう一つには良い役割を果たしてくれる」と数多くの写真を掲載、写真と関係したエッセーで構成。▽大学の日々I、II、III▽写真を楽しむと思つた日のこと▽独立後の日々、あるいは「残す」ということについて「ななと15章で組み立てた。大和田さんは「写真家としてどのようなことを考え、今後どのように考えようとしているかを伝えた」とし、「写真を取り巻く環境、時代の流れが速いことを考えれば、自分がやってきたことを現況に当てはめるには無理があるが、何らかの共通点はあると思う。ヒントのようなものになればうれしい」と話している。

リプロアルテ発行、新書判。2388円。定価952円。全国の書店で扱っている。(宮坂早苗)